

KS-3500_pt ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・京成3500形の未更新車
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット

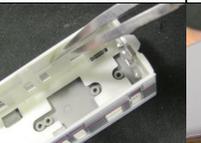
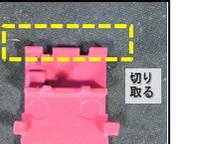
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

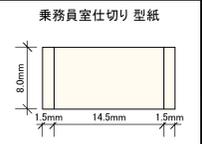
・カッティングマット	・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)	・直定規
・ピンセット	・楊枝、綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)	・ポンチ(プッシュピンなども可)
・プラスチックヤシバ	・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)	・サンドペーパー
・両面テープ	・ゴム系接着剤	・マスキングテープ
・本工ボンド	・プラモデル用接着剤	・瞬間接着剤
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」セメダイン「ラビエ」など)	・プラモデル用接着剤	・遮光用の塗料(黒または銀)

● 取り付け手順

1. 分解する					
1-1 床板を外す 	1-2 側窓を外す 	1-3 前面パーツを外す 	1-4 前面パーツを外す 	1-5 前面パーツを外す 	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	まず裏面のガラスを外します。	次いで側窓を外します。この車種は、屋根を外すことは必須ではありません。外さない場合は、柔らかい布の上などで作業します。	前面パーツは、楊枝などを使って、前面窓とライトレンズを交互に押し外します。	前面パーツは、透明パーツと貫通扉の2つで構成されています。	
2. 車体を加工する。			3. 床板を加工する		
2-1 前面透明パーツの加工 	2-2 貫通路扉を加工する 	2-3 側窓を加工する 	3-1 床板を加工する 	3-2 シートを加工する 	
前面透明パーツを、貫通扉の下で切断します。ヘッドライトは使用しないので保管します。	貫通扉裏側のツメ2箇所を切り取ります。	側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。カッターで数度傷を付けてから折ります。	床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前端の運転台機器より前の部分(約2mm)をカットします。	
4. ライトユニットを配置する			5. 配線する		
4-1 前面パーツをはめる 	4-2 ライトユニットをはめる 	5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る 	5-2 側窓下をアルミテープで結ぶ 	5-3 側窓下をアルミテープで結ぶ 	
まず、両面テープを使って、前面窓に貫通扉を固定します。	次いで、加工した前面窓と貫通扉を、両面テープを使って、ボディに固定します。両面テープは、ボディ側に貼ります。	ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。	本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。カッターで、4片のアルミテープを切り出します。	写真のように、側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所のツメの上に載せます。	
(5-1つづき) 			5-2 側窓下をアルミテープで結ぶ 		
側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼りつけます。			3mm×65mmを2本切り出し、前後のツメの間を結ぶように貼りつけます。中央のツメの部分は、ツメの下をくぐらせます。		

(5-2つづき)	5-3 ライトユニットへの配線	5-4 給電パッドの重ね貼り	5-5 側窓下の重ね貼り
			
ツメ部分のクローズアップです。	1.5mm × 18mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 6mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm × 18mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取り付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p> 		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (透光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の後端に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。

KS-3500_pt 説明書 2.00
 2016/07/17 1.00 初版
 2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
 2018/08/03 2.10 更新車登場により型番変更(ml→pt)

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
 イズムワークス・直売所
 〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15、店舗営業はしていません。
 phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

